

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	180,000,000	0	0	180,000,000
公社債（しんきん中金債）	100,000,000	0	100,000,000	0
公社債（日本政策金融公庫債）	0	100,000,000	0	100,000,000
出資金（多摩信用金庫）	30,000,000	0	0	30,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	0	21,169,345
建物	7,230,866	0	715,856	6,515,010
小 計	857,618,311	100,000,000	100,715,856	856,902,455
特定資産				
退職給付引当資産	10,230,000	610,000	3,380,000	7,460,000
修繕引当資産	35,260,000	0	9,000,000	26,260,000
小 計	45,490,000	610,000	12,380,000	33,720,000
合 計	903,108,311	100,610,000	113,095,856	890,622,455

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	180,000,000	( 170,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
公社債 (日本政策投資銀行債)	100,000,000	( 100,000,000)	( 0)	( 0)
出資金 (多摩信用金庫)	30,000,000	( 30,000,000)	( 0)	( 0)
美術品	519,218,100	( 519,218,100)	( 0)	( 0)
土地	21,169,345	( 21,169,345)	( 0)	( 0)
建物	6,515,010	( 6,515,010)	( 0)	( 0)
小 計	856,902,455	( 846,902,455)	( 10,000,000)	( 0)
特定資産				
退職給付引当資産	7,460,000	( 0)	( 0)	( 7,460,000)
修繕引当資産	26,260,000	( 0)	( 26,260,000)	( 0)
小 計	33,720,000	( 0)	( 26,260,000)	( 7,460,000)
合 計	890,622,455	( 846,902,455)	( 36,260,000)	( 7,460,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	55,140,074	48,625,064	6,515,010
什器備品	3,184,374	2,114,043	1,070,331
ソフトウェア	509,250	403,157	106,093
合 計	58,833,698	51,142,264	7,691,434

### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
株式会社日本政策金融公庫第34回社債	100,000,000	100,308,000	308,000
合 計	100,000,000	100,308,000	308,000

### 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	715,856
合 計	715,856

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	1,150,000	0	0	1,150,000
退職給付引当金	10,230,000	610,000	3,380,000	0	7,460,000